

今後に向けての学校の考え（学校関係者評価を受けて）

進学校として、凛々しく、優しくの教育理念の下に、確かな学力と豊かな心を持った生徒の育成を目指して努力をしているところである。学校関係者評価委員からは、大学入試制度改革を見据えた授業展開や、タブレット、プロジェクターを積極的に取り入れるとともに、スカイプも実施する等創意工夫した授業についても高い評価をいただいたところであるが、一方、中学の看板システムであるスリーライトクラスについて、本年度も、将来を見据え、より一層生徒の意欲を引き出す具体的な方法を検討されるよう意見があった。また、進路指導に当たり、卒業生から話を聞くことの重要性や「職業調べ」、「高校調べ」等の生徒の夢の実現に向けた取り組み等についてお褒めをいただいたが、生活面については、多感な時期であり、生徒を孤立させないようなきめ細かな配慮をより一層していただきたいとの意見をいただいたところであり、今後、これらについて十分検討し、文部両道の進学校としての地位を更に築いていきたい。